

性感染症に関する豆知識（おまけ）①

性感染症ではありませんが、
妊娠や赤ちゃんに影響する一般感染症について
「おまけ」としてお届けします。



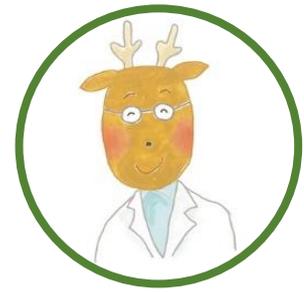
サイトメガロウイルス感染症

- 原因はサイトメガロウイルス（CMV）です。
母乳、子供の唾液や尿、輸血などから感染します。妊娠中は子供の唾液や尿に触らないようにしましょう。
- ほとんどが幼児期に感染します。妊娠可能女性の70%がすでに感染しています。
症状はありません。
未感染の女性が妊娠中に感染する確率は2%で、その約40%で母子感染します。
- 母子感染すると出生時に症状がなくても難聴や精神発達遅延が出てくる可能性があります。
先天性感染症児の90%が発達障害や難聴などの後遺症が残ります。
- 子供や大人は症状がないので治療する必要はありませんが、症状が出て必要な場合は
飲み薬や点滴で治療を行います。



性感染症に関する豆知識（おまけ）

妊娠や赤ちゃんに影響する一般感染症について
「おまけ」としてお届けします。



No.S5(トキソプラズマ感染症)

トキソプラズマ原虫が原因です。全人類の3分の1が感染していますが、無症状です。
妊娠女性のみ産婦人科に相談ください。

No.S6(トキソプラズマ感染症)

妊娠中は特に、肉の生食やネコなどの糞との接触を避けましょう。
妊娠中に初感染しても無症状ですが、約30%で赤ちゃんに感染します。

No.S7(トキソプラズマ感染症)

妊娠中に感染することで、流産や死産になることがあります。
生まれた後に神経発達障害、視力障害、脳性麻痺になることがあります。

No.S8(トキソプラズマ感染症)

妊婦健診で採血検査をする場合がありますが、一般的ではありません。
初感染した妊娠女性は飲み薬を出産まで続けます。



性感染症に関する豆知識（おまけ）

妊娠や赤ちゃんに影響する一般感染症について「おまけ」としてお届けします。



No.S9(風疹、三日ばしか)

原因は風疹ウイルスです。風疹ワクチンを打っていない人や打っていても抗体価が低下している人はかかりやすいので大流行することがあります。

No.S10(風疹、三日ばしか)

妊娠 20 週以前にかかると赤ちゃんが難聴・白内障・先天性心疾患などをもって生まれる可能性が高くなります。妊娠前に免疫があるか採血検査で確認しましょう。

No.S11(麻疹、はしか)

原因は麻疹ウイルスです。空気感染し、感染力が非常に強いため隔離が必要です。免疫のない人が感染すると 90%以上で発病します。

No.S12(麻疹、はしか)

はしかにかかると一生免疫ができます。麻疹ワクチン接種により 2015 年以降かかることはほとんどなくなりました。



性感染症に関する豆知識（おまけ）

妊娠や赤ちゃんに影響する一般感染症について
「おまけ」としてお届けします。



No.S13(麻疹、はしか)

妊娠中に感染すると、30%が流産や早産に。生まれて10日以内に発疹が出た場合、先天性麻疹とするが症状は発熱などで軽度です。

No.S14(みずぼうそう、带状疱疹)

原因は水痘・带状疱疹ウイルス（VZV）です。空気感染や接触感染でうつります。ほとんどが子供の時期に感染します。

No.S15(みずぼうそう、带状疱疹)

母子感染します。感染時期が妊娠中であれば数%以下で先天性水痘症候群や乳児期带状疱疹になります。

No.S16(みずぼうそう、带状疱疹)

感染時期が妊娠10ヶ月以降の場合は20%で赤ちゃんに水痘が出て出産直前では40%が重症になります。



性感染症に関する豆知識（おまけ）

妊娠や赤ちゃんに影響する一般感染症について
「おまけ」としてお届けします。



No.S17-1（成人T細胞白血病(ATL)）

原因はヒトT細胞白血病ウイルス（HTLV-1）です。全国に100万人以上のウイルスキャリアがいます。

No.S17-2（成人T細胞白血病(ATL)）

数十年後に成人T細胞白血病になる場合があり、発症率はキャリアの5%で発症数は年間1000人です。

No.S18(成人T細胞白血病(ATL))

感染者の20%は性行為によって、60%は母乳によるものです。母乳をやめる完全人工栄養が奨められています。

No.S19（伝染性紅斑、リンゴ病）

原因はヒトパルボウイルスB19（PVB19）です。子供の頬が赤くなるリンゴ病を起こします。4～5年周期で流行します。かかると一生免疫ができます。

No.S20（伝染性紅斑、リンゴ病）

妊婦の抗体保有率は50%以下。妊婦が初感染すると約20%で母子感染し、4%で胎児の貧血や水腫が生じるが多くは重症になりません。

